

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

1年 ひきざん

□ 116~125

- 14-8, 13-6のような、くり下がりのあるひき算ができるようにします。

〈計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 14 - 8 \\ \underline{10} \quad 4 \end{array} \quad \begin{array}{l} (1) 14を10と4に分ける。 \\ (2) 10から8をひいて2。 \\ (3) 2と4で6。 \end{array}$$

ひかれる数を
10といくつ、に分ける
ことがポイントだね。



くり上がりのあるたし算やくり下がりのあるひき算は、上の学年での筆算で使われます。ひき算カードなどで、しっかり練習させましょう。

2年 かけ算九九づくり

□ 25~41

- 5, 2, 3, 4のだんの九九にひきつづき、6のだん, 7のだん, 8のだん, 9のだん, 1のだんの九九の練習をします。

7のだんは唱えにくく、まちがえやすいので、特に気をつけましょう。

九九の図を作って、目で見ながら、何度も練習しましょう。

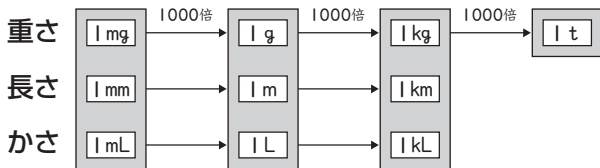
「倍」の意味を勉強するよ。
九九を覚えると便利なんだ。



3年 重さ, 分数

□ 20~46

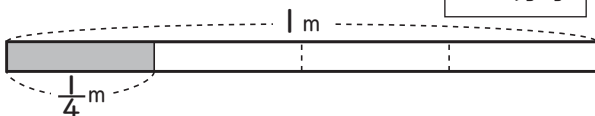
- 重さを表す単位を知り、はかりの使い方や重さの計算のしかた、単位のしくみを学習します。



- 分数のしくみを知り、表し方を理解して、分数のたし算とひき算を練習します。

〈表し方〉

$$\frac{1 \cdots \text{分子}}{4 \cdots \text{分母}}$$



4年 小数のしくみとたし算, ひき算

□ 36~49

- 0.1より小さいはしたの表し方を知り、小数の位取りを学習します。また、小数のたし算やひき算のしかたも学習します。

2.685

〈小数の計算〉

$$\begin{array}{r} 2.685 \\ -1.111 \\ \hline 1.574 \end{array}$$

の数の位
点ののの
位位位
(小)(小)(小)
数数数
第第第
一第第
位位位

$$\begin{array}{r} 2.15 \\ +1.43 \\ \hline 3.58 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5.67 \\ -3.44 \\ \hline 2.23 \end{array}$$

1. 位をそろえて書く。
2. 整数のたし算やひき算と同じように計算する。
3. 上の小数点の位置にそろえて、答えの小数点をうつ。

5年 わり算と分数

□ 157~162

- わり算と分数、分数と小数や整数との関係を学習します。

〈わり算と分数〉

わり算の商は、分数で表すことができる。

$$\bigcirc \div \triangle = \frac{\bigcirc}{\triangle} \quad \begin{array}{l} \text{わられる数が分子,} \\ \text{わる数が分母になる。} \end{array}$$

〈分数と小数, 整数〉

分数…分子を分母でわると小数で表せる。

小数…10, 100などを分母とする分数で表せる。

整数…1を分母とする分数とみることができる。

〈分数倍〉

(例)長さ2mのテープは、長さ3mのテープの何倍か。 $2 \div 3 = \frac{2}{3}$ 倍

6年 角柱と円柱の体積, 比

□ 140~156

- 角柱と円柱の体積の求め方を学習します。

角柱の体積 = 底面積 (底面の図形の面積) × 高さ
円柱の体積 = 底面積 (底面の円の面積) × 高さ

- 比の意味と表し方がわかり、比を使って問題が解けるようにします。

〈比の表し方〉4と5の割合を「:」の記号を使って、「4:5」と表すことができる。

〈比の値〉a:bで表された比で、bを1とみたときaがいくつにあたるかを表した数を比の値という。

〈比の性質〉a:bの両方に同じ数をかけたりわったりしてできる比は、a:bに等しい。